

68期生

3年生学年だより

豊中市立第五中学校 2021年6月8日(火) No.8



「高校を受験する」ということ～一人ひとりの進路実現において～

3日(木)に、箕面自由学園高等学校で校長先生をされている田中良樹先生を講師としてお招きし、「高校を受験する」というテーマで講演をしていただきました。ご自身の高校受験の時のお話から、受験勉強の仕方まで幅広くお話しいただきました。真剣にメモを取りながら聞いている人が多かったように感じます。「失敗体験が大きな宝物になる。だから挑戦することをためらってはいけない。」というお言葉は、とても励みになりました。感想を一部掲載します。

どんな生徒が伸びるのか？

伸びる生徒共通の3つの行動パターン

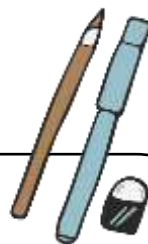
①他人の話を素直に聞くことができる。(メモを取ること。)

②やらなければいけないことを何よりも優先して実行する。

(何か自分に言い訳をして、やるべきことをあとに回す)のと反対

③ONとOFFの使い分けを計画的に出来る。

やるときはやる、休むときは休む。中途半端・ながら勉強はダメ
場当たりのOFFの取り方はダメ。計画的にOFFを取る。



おすすめの勉強

25分間集中!



① やるべきことを前もって書き出しておこう。

② やる気をだすおまじないを考えておこう。

③ すきま時間の活用

「10分しかないから～出来ない」から


「10分もあるから、～しよう」という発想の転換

④ 25分間(集中)学習法 25分間思いっきり集中してやる。

⑤ まちがいノートを作る。

定期・実力テストの間違った問題のやり直しは必ずすること。

⑥ 夜スベ。単語暗記法、スマホとの付き合い方など。



みんなの感想より♪ (一部抜粋)

僕は、今まで宿題を後回しにしてゲームをしていたけれど、今日の進路講演会を聴いて、宿題をゲームより優先してやると決めました。定期テストの勉強も、しんどいと思いつつやっていたけれど、25分間集中法を試してみようと思いました。一番僕の印象に残ったことは、「本当に行きたい学校は、たとえ人から笑われても挑戦すること」です。僕には、まだいきたい高校がないけれど、いつか見つかると思っていて、勉強を頑張っていきたいです。今日の講演会を聴いて、考え方、視野が広がりました。

最初に高校受験でも落ちることがあると言われて、正直、受験について少しなめていた自分がいました。「兄も姉も合格しているから、自分もそれなりにやったら合格できる」と思っていて、自分がいきたい高校にいけないという可能性があるというのは、すごく恐ろしいと感じ、テスト前だけ勉強するのでは、高校にいけないということが分かりました。勉強を「楽しんでやる」という発想がなかったので、自分も楽しんでやったら勉強がいやというのはなくなるんじゃないかと思いました。25分間学習法は自分でも「できる!」と感じたので、今週の土日でやってみようと思います。

正直、高校はどうかなと思っていて、あまり高校について色々考えてなかったが、「自分の母校になる高校」という言葉を聴いて、自分がその高校に入って何を学びたいか、何をしたいのかをよく考えて、いろんな高校に目を向けてみようと思いました。自分はクラブでも、他のクラブに入ればよかった、他のクラブに仮入部してみればよかったと思っていましたが、勉強だけでなくクラブも楽しんでやってみようと思いました! 楽しんで勉強する方法を具体的に知ることができて、いろいろやってみようと思いました。

私は前向きに考えることが苦手です。自分で自分のためな所について、ふさぎこんでしまいます。そのこともあり、勉強にしてみてもしぶしぶやるイメージしか湧いてきませんでした。今回、田中さんが発言していた「君たちの母校になる高校」や「楽しんでやる発想」などを聴いてよくよく考えてみました。将来、自分の行った学校に後悔があつていいのか、しぶしぶ嫌いな勉強をして、受験に落ちた時に自分はどう思うのか。結論を言えば絶対にそんな思いをしたくはありません。「一期一会」を大切に、前向きに積極的に取り組むのも悪くないと思いました。受験まで時間はないですが、経験してきた先輩のことを信じて頑張ってみます。自分で後悔のないように学校を選んでみます。

